

平成29年度 学校自己評価報告書

1 地域とともに子どもを育てる教育

考察等	◎保護者や地域との連携と信頼関係の構築、情報発信などの項目の評価が高い。子どもの成長には地域や保護者とのかかわりが重要であることを理解し、教育活動を実践している。 ○各種たよりや行事のお知らせ・ホームページ等で、積極的に学校の様子を発信している。
改善策	○地域の行事やPTA活動の年間予定を教職員に周知し、PTA活動の様子を教職員に意識させる。 ○事務局が学校運営委員会の活動の様子をたよりなどにまとめ発信し、学校運営委員会からの教育活動の理解を、教職員が認識すると同時に、日々の教育活動がその意義に迫るものになっているか検討する。

2 未来を担う子どもを育てる教育

(1) 生活指導

考察等	◎生徒会活動・学級活動を通して、いじめのない良好な人間関係が築けるように教職員は活動している。 ○生徒・保護者の相談に対して、スクールカウンセラーや養護教諭が積極的に関わっている。
改善策	○生活指導上の課題に対して、学校全体として迅速な組織的対応を行う。 ○生徒が所属する各集団に対して、生徒自らが働きかけ、集団の質の向上を図れるように意識させる。さらに講演会や外部講師を活用し、活動の事例を示し、生徒自身の内省と実践など繰り返し指導していくことで、規範意識の向上と社会の一員としての自覚を高めさせ、落ち着いた学校生活を生徒が送られる教育活動を行う。

(2) 道徳教育

考察等	◎年間指導計画に基づき、道徳的価値の自覚を深める授業を行っている。 ○生徒自身が自他の生命を大切にし、思いやりと寛容な心を養えるようにするために、すべての教育活動における道徳的実践力の育成が図られるように、指導者は働きかけている。
改善策	○道徳的実践力の育成を意識した授業展開を、道徳の授業の中で場面設定し、生徒間の意見交流を行い、道徳的価値を揺さぶるような働きかけをする。例えば、課題設定の場面で、多様な行動の選択肢を生徒どうしに考えさせると同時に、その行動にいたるまでの内面についても考察させる。

(3) 学校行事

考察等	◎行事ごとに委員やリーダー、係生徒などの生徒の活躍する場を増やすことで集団に対する帰属意識と集団に貢献した達成感や充実感を感じさせる働きかけとともにリーダーを支える周囲の生徒の活動の意義についての指導を、指導者がしたことが高い評価につながった。 ○学校行事を通して、今後とも運動の楽しさを味わわせ体力向上を図っていくことは重要である。
-----	--

(4) キャリア教育・進路指導

考察等	◎キャリア教育の全体計画に沿った指導を行うことと、それらの活動を学年たより等で詳しく保護者へ紹介すること、また、丁寧に生徒・保護者の相談に応じたことが高い評価につながった。
-----	--

(5) 特別支援教育

考察等	◎スクールカウンセラーを含めた教育相談部会を毎週行い、生徒の状況と関係機関との関わり合い方等について意見交流を行うことが、個々の生徒・保護者についての対処方法を考える上で参考になっている。
-----	--

(7) 部活動

考察等	◎各部の顧問、部活動支援員の協力により、活発な活動となっている。
改善策	○全職員での組織的な対応としては、活動日数、活動時間の見直しと部活動支援員の活用を通して対処していく。

(8) 学習指導

考察等	◎学習指導のほとんどの項目で、教職員は、その取組状況に対しては自信をもっている。日々の研鑽を惜しまずに授業に取り組んでいる成果によるものである。 ○話し合いや教え合いなどの言語活動の充実には更なる工夫がいる。
改善策	○単元に一度は話し合いや教え合う活動を位置付け、世田谷区教育要領の言語活動の具体例を参考にして、「主体的で、対話的で、深い学び」にせまる実践を重ねることが必要である。

3 信頼と誇りのもてる学校づくり

考察等	◎各教職員がそれぞれの学年・分掌を通して、学校経営に積極的に参画し、職務や役割を自覚して、情報の共有に努め、組織的な課題対応に努めている。また、熱中症や感染症、アレルギー等の予防や対応、防災に対する意識を高める指導や避難訓練について計画的に行っている。
改善策	○今年度の目標に経営方針が十分反映され、課題に対してさらに組織的に対応していくことが望まれている。 ○生活上のトラブルで被害にあう生徒がいないように日常の指導と情報の共有が適切に進めていくことが望まれる。

4 教育環境の整備

考察等	○校長の決裁を得てから文書発信を行い、私費会計の徴収・会計処理を適正に行い、個人情報の管理についても適切に行っている。
改善策	○計画的な予算執行を行い、早い時期からその執行について意識的に処理することが必要である。

5 推進指定校の取組（独自項目）

考察等	○オリンピック・パラリンピックを啓発する教育活動が行えており、新聞を活用した学習活動に取り組み、図書館司書と連携し学校図書館を活用した教育活動が行えている。
改善策	○各教科で、学校図書館を利用した授業を年間指導計画に位置づけ、図書館司書に相談しつつ学校図書館を更に活用していく。

6 今年度の重点

考察等	◎自ら進んで学ぼうとする態度を養い、豊かな知力と健やかな身体を育成しようと生徒が努めるような働きかけを指導者は意識して行っている。
改善策	○生活指導スタンダード、授業スタンダードについては、全校で一致した取組となるように、その内容と日々の指導状況を検討することが重要である。